

校長のつぶやきⅡ

校長室便り 第5号

令和2年4月27日 山内

○アベノマスクが届きましたー岩高生全員分のガーゼマスクー



5月6日まで臨時休業が延長され、さらに先生方も交代制で在宅勤務となりましたので、ここ数日は私と事務室長はじめ、1階に数名、2階の職員室も教頭先生を含め数名の先生方が交代制で勤務しています。岩高生のいない学校はただでさえ寂しいのに、教職員の方々も少なく寂しさが増しています。そんな中、本日27日(月)国から岩高生全員分のマスクが届きました。安倍総理の経済政策「アベノミクス」になぞらえて「アベノマスク」と報道されています。今のところ5月7日(木)

が学校再開予定ですので、その時に岩高生一人一人に配付します。もし仮に臨時休業が延びたときは、郵送等で必ず届けたいと思います。型の古さ、効果等色々と言われていますが、国のお金で、つまり我々一人一人のお金で配付した貴重なものです。一日一回の洗濯でおおむね一ヶ月間利用できるそうです。大事に使いたいものです。休業が続き、保護者の皆様にも色々とお負担をおかけしています。ここ4、5日宮城県内の感染者数は落ち着いてきているように思いますが、まだまだ油断は出来ません。どうぞご家庭でも岩高生のご指導よろしく願いいたします。

○インターハイ中止決定ー全国高校総体昭和38年開始以来初の中止ー

昨日26日(日)オンライン会議において、今年度のインターハイの全競技と総合開会式の中止が決定され本日も大きく報道されました。東京オリンピックの影響で、30競技を21府県で分散開催する予定で、中には青森県(相撲)、岩手県(卓球・送球・拳闘)、山形県(体操)といった東北地方も含まれていました。どれだけの高校生と顧問の先生方、家族ががっかりしているのでしょうか。特に3年生は最後の高総体です。どんなにか無念でしょう。岩手県のようにすでに県総体も中止を発表した県もあり、宮城県は今週30日(木)の会議で決定されるようですが、厳しい決定であることは覚悟しなければならないと思います。私も十年ほど前までは運動部の一顧問として、生徒と共に本気でインターハイで勝つために日々活動していました。子供の県総体では一親として声を枯らして応援しました。何と声をかけていいかわかりませんが、もし当時の顧問時代に生徒に言うとしたなら、「自分の命、家族の命、友の命、命を第一に考えればやむを得ない。大会に出場できないのは残念だけど、大会がないからと言ってこれまでのみんなの取り組みが色あせることはない。こういう時のために心を鍛えてきたんだから、ぐっとこらえて今できることをしっかりやろう」でも残念です。これで今回のつぶやきはおしまいです。